

新中央ふ頭 工事進捗情報



<工事内容>

西防波堤を撤去し間口を拡幅することにより、大型クルーズ船が安全に入港することが可能となります。

西防波堤撤去の最初の工程は上部工撤去となりますが、上部コンクリートが厚く、通常の破碎方法（砕岩棒方式）では飛散が著しい状況となることが予想されるため、静的破碎方式を採用しました。

静的破碎とは、あらかじめ上部コンクリートに開けた穴に専用の薬剤（膨張剤）を充填し、固化した際の膨張力によりヒビを生じさせたのち、ブレーカーを使用し破碎するものです。

平成29年1月5日
工事着工前

望遠撮影



平成29年2月14日
上部コンクリート撤去後

望遠撮影



平成29年1月31日
パラペット撤去後

近距離撮影



近距離撮影



44時間後

薬剤が膨張

ヒビ割れ発生

▲薬剤を充填

▲ヒビ割れ発生状況

上部コンクリート撤去のイメージ

クレーン付台船
(大型油圧ブレーカー)

パラペット

上部コンクリート

